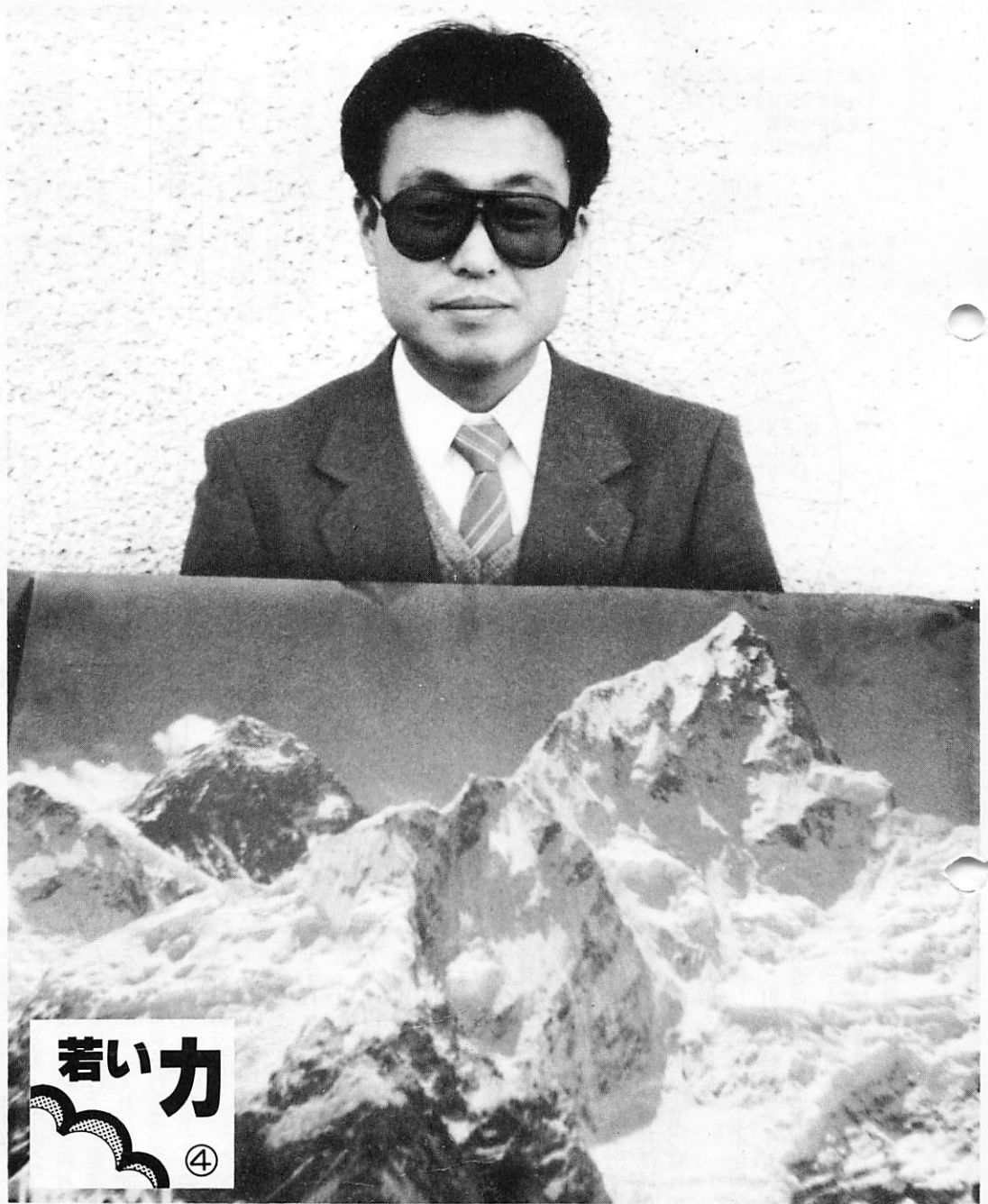


広報あじす 毎月5日 発行  
お知らせ版 毎月20日 発行  
山口県吉敷郡阿知須町  
発行 阿知須町役場  
電話 4111番代 ☎754-12  
印刷 よしの印刷株式会社



海外から広い視野で  
日本を見てみよう

山本 貴広さん  
(飛石)

アジア・アフリカなどの開  
発途下国の国づくりに協力す  
る青年海外協力隊。その隊員  
として活躍してきた山本貴広  
さん(三六)が二年半の任務を終  
え帰国しました。

山本さんは福岡大学体育学  
部卒業と同時に外務省の外部  
団体・国際協力事業団の同協  
力隊に応募し、ネパールに派  
遣。ヒマラヤに近いポカラと  
いう人口二万人ぐらいのまち  
の教育委員会が社会体育を担  
当し、陸上競技、サッカー、  
バレーボール、体操などを指  
導していました。本来、協力  
隊の任期は一年ですが、地域  
の体育振興のために一年半の  
延長の許可を得て、その任に  
当りました。

**若い力** ④

ネパールのポスターを持つ山本さん

最初は「現地に行っても、  
日本人的発想が抜けきれず、  
現地の人も「日本人だから」  
という考え方を持っているた  
め苦労しました。特に電気の  
ない暮らしなどは、かなりシ  
ョックでした」

しかし会話も不自由なくで  
きるようになって、現地の人  
たちとの交流も深まり、「素  
朴な人間性にふれることがで  
きました。現地の人は貧しか  
つたけれども、何もなくても  
生きて行けるんだなあと思い  
ました。人間の本当の生活を  
見たよかったです」

若い人たちは「海外に出て  
みるべきだと思えます。本を  
読んで得る知識だけでなく、  
海外から日本を広い視野で見  
てみるのが、今とても大切  
なことではないでしょうか」

**隊員を募集中**

- ▽願書締切 五月三十一日
- ▽選考 第一次選考(筆記試  
験) 第二 次選考(面接等)
- ▽派遣国 希望は尊重するが、  
受入先や本人の技術を考慮し、  
適材適所の決定を優先します。
- ▽派遣前訓練 三カ月間
- ▽派遣期間 一年間
- ▽問い合わせ 町企画課まで  
(電話二二二、有線二四四)

# 今秋には清掃センターが完成 漁港の導流堤築造工事にも着手

## 一般会計は十七億九千万円

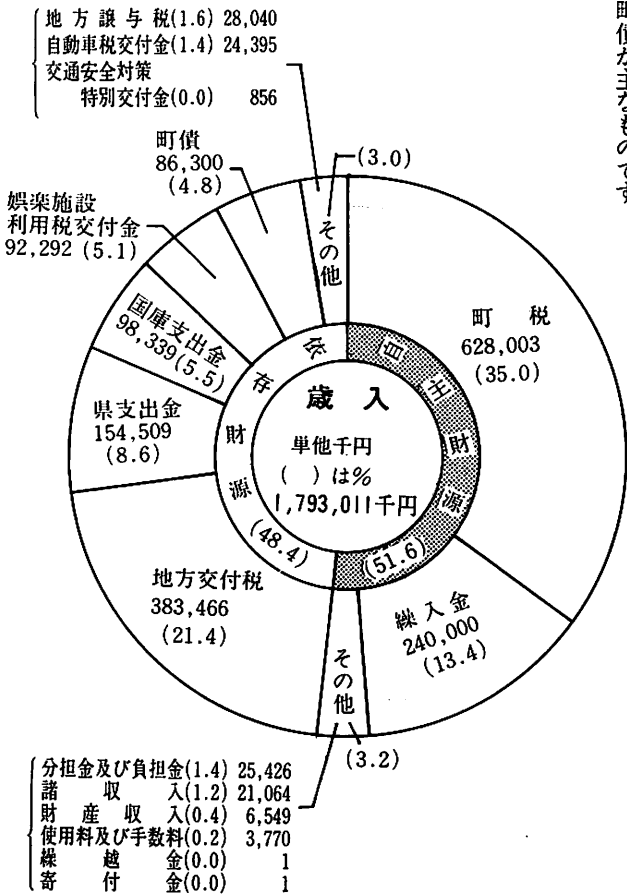
三好町長は六十年度の予算編成にあたって「厳しい財政環境のもとで健全財政を貫くことを基本的な考え方とし、緊急性、重要性、効率性を兼ね備えた事業を最優先させた」と述べています。

一般会計は歳入・歳出とも十七億九千三百一十萬千円で、前年度に比べ一億七千三百一十萬千円（一〇・六％）の増。これは清掃センター（仮称）や田道の東坂波本田良線、漁港の導流堤工事と広域水道への出資と補助、水道企業会計への補助などによるものです。では、一般会計を中心に予算をみてみましょう。

### 一般会計・歳入

町税は前年度より千九百六十八万七千円（三・二％）の増を見込んでいます。内訳は右下のグラフのとおり。

歳入は、町税、地方交付税、繰入金、県支出金、国庫支出金、娯楽施設利用税交付金、町債が主なものです。



### 町税の内訳 ( )は%

固定資産税	(41.3)
町民税	(38.0)
都市計画税	(9.7)
電気税	(4.6)
たばこ消費税	(4.2)
その他(2.2)	

軽自動車税  
入湯税  
特別土地保有税  
木材引取税

繰入金は町が長年積み立てた財調基金を取りくずしたため、前年度より一億九千万円（三・八〇％）の増

### 第1回 定例議会

## 新年度予算などを可決

今年をはじめの町議会定例会は三月十一日から二十九日まで開かれ、町長提出議案十八件、議長提出二件を全部原案どおり可決しました。

本町の定例議会は年間四回と定められていますが、三月に開かれる第一回定例会は、その年度の最終予算と四月から始まる年度予算を審議することになっており、年間で一ばん重視される議会です。今回可決された主なものは次のとおりです。

▽五十九年度町一般会計補正予算Ⅱ歳入歳出とも十六億七千三百八十一万一千円。前年度と比べて一億六千七百四十九万九千円減っています。

国民健康保険、老人保険、水道など特別会計も予算補正しましたがこの金額は省略。

▽課制条例の一部改正Ⅱ課や係など機構を改めました。詳しくは七ページに記載。

▽職員定数条例の一部改正Ⅱ町職員の定数は町条例で定めてありますが、町長部局が一人減り、水道企業の職員が一人増えました。

▽阿知須町建築協定条例の制定Ⅱ住宅地としての環境や商店街としての利便を高度に維持増進のために、その地域の人々が自主的に建築協定ができるように定めたもの。

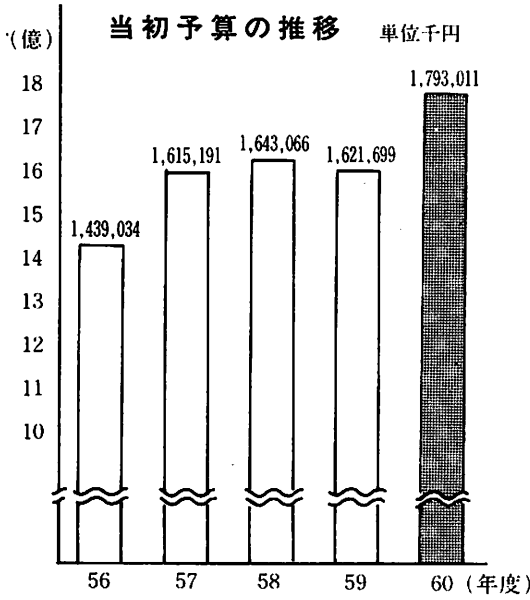
対象となるのは建築物の敷地、位置、構造、用途、形態、意匠、建築設備など建築基準法にもとづくものです。

▽その他Ⅱ国民健康保険税条例、町税条例など税法改正に伴い一部を改正しました。

任期満了に伴う選挙管理委員会の新しい委員と補充員が決まりました。本町の選挙に関する事務およびこれに関係のある事務を管理するための役職で、身分は地方公務員法上の特別職です。定数はそれぞれ四人。通常は委員が管理に当り、委員が欠けたとき補充員の中からあらかじめ決められた順位で委員にくり上ることになっています。新任期は三月二十三日から四年間。

委員は次のとおり(敬称略) 委員Ⅰ木原百合雄(巨東) 委員Ⅱ松本俊(巨北) 委員Ⅲ蔵谷寛(東) 委員Ⅳ以上再選、白井昭祐(北祝) 委員Ⅴ補充員Ⅰ藤井儀一(岡) 委員Ⅱ真重章(中村) 委員Ⅲ藤本豊一(砂) 委員Ⅳ佐藤昭典(井関)

新しい定数は議会事務局二人、町長事務部局六十五人、水道企業四人、選挙管理委員会一人、教育委員会事務局および教育機関二十人、農業委員会二人となりました。



議会費	(2.8)	49,215
消防費	(1.0)	17,859
予備費	(0.6)	10,000
商工費	(0.3)	5,728
労働費	(0.2)	2,974
災害復旧費	(0.1)	1,724

補助金として約二千八百四十八万円、同企業団への出資金二千四百万円などが主なもの。昨年度着工した清掃センタ

は今秋には完成し、年末には運転を開始する予定です。

#### 農林水産業費

二億七千二百三十七万六千円で、対前年度約千七百五万円(六・七%)の減。

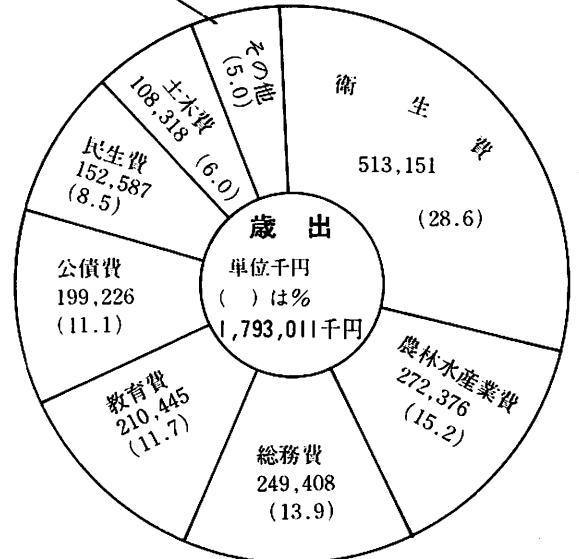
農村総合整備モデル事業のほか、今年度から二か年継続事業で漁港の導流堤の築造工事に着手するのが主なもの。同築造事業費として四千五百七十一万円を計上しています。

#### 総務費

二億四千九百四十万八千円で、対前年度約三千八百八十万円(一一・三%)の減。経常的な経費がほとんどを占めています。

#### 民生費

一億五千二百五十八万七千

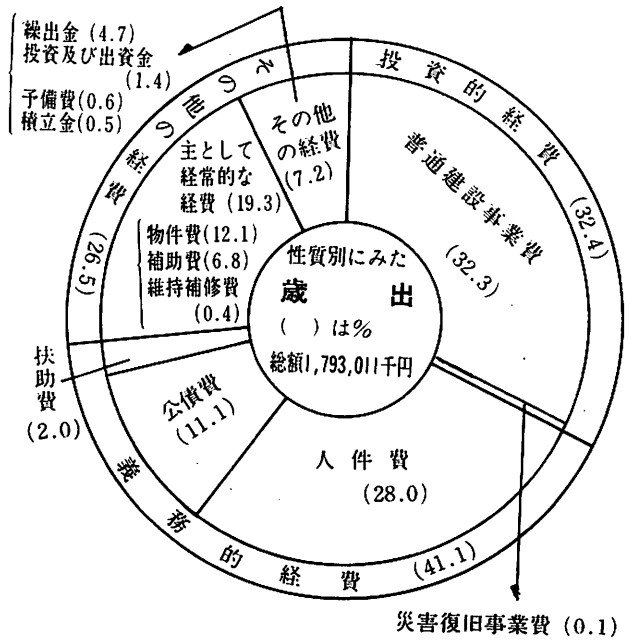


### 一般会計・歳出

歳出の主なものを目的別にみると次のとおりです。

#### 衛生費

五億三千三百十五万円で、対前年度約三億三千二百五十七万(一八四・二%)の増。清掃センター建設費として約二億九千四百五十八万円、水道企業会計への経常運営費として五千五百万円、山口・小郡地区広域水道企業団への



土木費 一億八百三十二万八千円で、対前年度約六千九百五十三万円(三九・一%)の減。由良線改良工事が主なもの。

教育費 二億四千四百五十万円で、対前年度約二千四百六十万円(一〇・三%)の減。阿知須小学校に家庭科教室を設置する予定。

#### 公債費

一億九千九百一十二万六千円で、対前年度約百七十六万円(〇・九%)の増。長期借入金返済に充てるものですが、町としては元金の総額を徐々に減少させていく方針です。

### 水道事業の予算

収益的収入	131,146
収益的支出	131,146
資本的収入	10,000
資本的支出	18,547

### 特別会計の予算

国民健康保険事業	391,406
交通災害共済事業	3,806
同和地区住宅資金等貸付事業	795
老人保健事業	596,944

(単位：千円)

### 昭和60年度一般会計歳出予算の前年度との比較(目的別)

単位は% ( )内は予算金額の増減率

	総務費	農林水産業費	教育費	公債費	民生費	衛生費	土木費	その他
59年度当初予算	17.3	15.7	14.5	12.2	11.8	11.1	11.0	6.4
60年度当初予算	13.9 (△11.3)	15.2 (6.7)	11.7 (△10.3)	11.1 (0.9)	8.5 (△20.5)	28.6 (184.2)	6.0 (△39.1)	5.0 (△14.8)

# 広報 400 号特集

## 親しまれる広報めざして34年

### 三十四年の歩み

毎月五日発行の広報も今月で「四百号」となりました。

町民のみなさんや町にとつて嬉しいことや楽しいこと、苦しいこと、悲しいこと……いろいろ掲載して約三十四年になります。

そこで広報の歴史をたどってみましょう。

広報第一号は昭和二十六年

十一月に発行されました。題字は「阿知須町広報」で、タブロイド版二ページ、一号発行後、広報委員会が発足しました。

二十八年一月の十五号から「阿知須町広報」となり、題字に絵柄が入りました。

三十三年六月の八十号から八十六号の七回だけは横書きの「広報あじす」を発行しましたが、その後縦書きの「阿知須町広報」にもどり、三十

六年の百十三号からは題字の横書きが定着しました。現在の「広報あじす」が定着したのは四十六年一月の第二百三十号から。八ページになったのは五十六年三月からです。題字のレタリングは日仏現代美術展で特賞に輝いた松代光正さん（砂郷一区）の制作です。

お知らせ版は四十六年十一月から発行を始め、現在百五十八号となりました。

三十四年の間に役場は浜区のバス停前から現在の地へ移転し、町公民館や体育センターも完成し、町は大きく変わりました。

町長も上重正一氏、兼定好太郎氏、中尾岩雄氏、中川伸之進氏、三好正之現町長と五人変わりましたが、その間広報紙は町と町民のみなさんとのパイプ役を務めてきました。現在広報紙A5版の大きさ

で、毎月二千六百部発行し、うち約五百部を町外の町出身の人たちに郵送しています。また、読み易い広報をめざし、文字の大きさも試験的に昨年より一部を少し大きくしています。これからも担当者一同、町民のみなさんに「親しまれる広報」づくりに努めます。ご意見、ご要望がありましたら町企画課までお寄せください。

### 豊かなくらしを支える広報紙に

広報委員長 兼重 一 (赤迫)



本町の広報紙が、今月号をもって発刊第四百号を迎えました。昭和二十六年十一月第一号の発刊以来三十四年目の歳月を重ねてきたことになりました。でもこの間、本町もいろいろの変遷をたどりました。発刊の昭和二十六年といえ、国も町も、戦後の激動の中から、ようやく落ち着きを見せはじめ、対外的には日米安保条約が結ばれた年でもあったかと思えます。

この四百号発刊を機会に、役場に保管されている広報を改めて目を通してみました。

この広報のもつ使命や役割りは当時も今もあまり変わってはいませんが、当初はタブロイド版でした。記事内容や、語調・紙質・編集等から、それぞれ時の移り変わりや町政のようすが、生の歴史として往時を偲ばせてくれました。編集担当者も時を追って受け継がれてきましたが、それぞれの特色がみられ、町民のみなさんからは、親しみをもって読んでいただけたかと思えます。

故事に「故きを温ねて新しきを知る温故而知新論語」という言葉がありますが、第一号から綿々と続いている広報の歩みの中から、これからの広報の在り方をここらあたりで見直してみる必要もあると思えます。

現在の発行については、町役場の各課長と私たち民間側から選出されたもの(砂三、上村定雄、北祝・高野義一両氏と私)が広報委員として名

を連らね、その任にあたっております。毎月各号ごとその内容や編集について検討しております。公正で確実、読み易く、わかり易い広報としてみなさまにお届けしたいと鋭意努力しておりますが、何分、限られた条件の中で、みなさまのご満足いただくといいことは容易ではありません。

しかしながら、この広報は町民のみなさまのものです。行政と町民の大切なパイプとして、また町民の豊かなくらしを支える広報として、育てたいものです。できるだけ多くのご意見を参考にしたいと願っています。

今後とも、町内のみなさまの温いご理解とご協力をお願い申しあげ、広報四百号の記念のごあいさついたします。



400号発行した広報。題字は6回変わりました。

# 広報

## とわたし

広報四百号を記念して日ごろ広報紙を愛読されている方々に町広報紙についてのご意見、ご感想をいただきました

郵送されて読む立場から

### 広報紙は懐し 郷里離れて20年

津秋富子さん

(光市)

今年の春は、雨が多かった

けど木々の芽は、ふくらんで地上の物すべてが活動を開始



する季節となりました。毎月町広報をご送付下さいます。有り難うございます。郷里を離れて拝読する町広報は、とても懐かしいものです。

光陰矢の如しと申しますが、私が光市へ嫁いでちょうど二十年の歳月が流れました。こ

### あじすの400

広報400号にちなんで“あじすの400”を取り上げてみました。

**400年前** 1585年の日本は安土桃山時代。山口県は大内氏から毛利氏の時代に移った頃。阿知須は「白松庄」と呼ばれていました。北方八幡宮の楼門は、この頃建立されています。

約**400㎡** 井関小学閣の講堂の床面積。  
約**400ha** 町内の米の作付面積。  
約**400人** 阿知須中学校の生徒数（4月4日現在425人）で町人口の約5パーセントを占めています。また、町公民館三階大講堂も椅子をざっと並べると400人収容できます。

こは、海と山に囲まれ、自然の美しい環境に恵まれた人口五万人ばかりの市でござい

ます。フィットニングパーク、スポーツ公園、図書館、文化センターなどが新しく設立され、

小中学校も立派な校舎に建ち変わりました。光駅は、二年前に改築されましたが、駅前

あたりは、昔と余り変わらず静かなものです。

これに比べて、ふる里の阿知須は私が離れたあと駅前通りから町内の至る所が随分、

立派に整備され、新しい家々が建ち並びました。あの変ほうには、本当に驚嘆いたして

おります。ふる里が発展することは、うれしい限りでございます。

当市には阿知須出身の同級生、先輩、後輩が十人ぐらい

住んでおり顔を合わせたとき

### 阿知須の職場に通って

#### 町の「顔」としての機能を

来栖重成さん

(山口市)



広報紙の発行のねらいは、一般の新聞のように、発行す

は阿知須のことを話合っています。

私は、昨年から下松市へ通勤を始めました。人員も合理化され少人数でかなり仕事

は、厳しいものです。数字に弱い私が、金銭を扱う仕事を

受持ち帳尻のあうよう毎日懸命に働いています。とても気

ふる里の発展を「読む」

#### シリーズものが親しみやすい

田中辰夫さん

(静岡県御殿場市)



町広報も発行以来四百号になったので、誠におめでと

を遣いますが労働の喜びを感じます。それからふる里の漬物物を職場の同僚、近隣の方々によく差し上げています。大変好評です。阿知須町のますますのご発展と皆々様のご健勝をはるかに祈り申し上げます。

(旧姓藤沢、飛石出身)

うございます。

昭和二十六年といえは私が阿知須に転入した年で、その後三十五年に転出し、わずか九年あまりしか在住しませんでした。わがふるさとでのなつかしい思い出は忘れられません。毎月広報を送っていただきまして、とてもなつかしくありがたく拝読いたしております。

阿知須には両親がいますのでたまに帰ることがありますが、道路は昔の面影のないほど立派に改良され、建物もい

する知識が必要でありました。

最近の紙面から印象に残った記事は、一月号の「絵で見

るわが町」で、町外に住んでいる者にとっては、町の様子がよく分かり、改めて町の生活実態を見直した次第です。

広報全般としては、多くの情報を集め、分析し、創意と工夫がなされていることが読みとれます。今後とも、広報紙が町の「顔」として十分機能することを大変期待している者の一人です。

(阿知須中学校教頭)

ろい整備されているのを見て、ふるさとでの発展をたのしく感じております。

現在私が住んでいる御殿場は都市化が進み自然破壊がくりかえされています。一度破壊された自然をもとにもどすには多くの困難がいります。

都市化が進み、その代償として雑木林など自然らしさを感じさせた緑が少なくなってきました。そこで公園や街路樹等による緑の町づくりや道路の緑化が必要になってきます。

阿知須はその点、緑を大切に、自然との調和を配慮されているので昔の面影を失わないとても環境の良い町であると思います。

広報紙で特に感じますことは、一面の「ふるさと再発見」「ここに人あり」「若い力」などユニークな企画だと思います。各シリーズとも親しみやすく読んでおります。また、阿知須は各種のスポーツや文化活動が盛んであること、人づくりをめざしての教育も、各界の有識者により鋭意努力されていることなど、教育環境も非常にめぐまれていると思います。

テクノポリス建設・干拓地利用の問題は二十一世紀の課題としてこれからの阿知須を左右する目標だと思えます。町のますますのご発展を祈念いたします。

(陸上自衛隊勤務・浜区出身)

(裏面に続く)

家庭の主婦の声

地域の結びつきを深めるために

井本 操さん (岩西前)



四百号おめでとうございませ...

努力されている方々をとりあ...

ありますが、身近な新知識を...

職場で回覧する広報紙

テクノポリスの記事を載せて!

山田育子さん (飛石)

職場で仕事をしていると、...



と目を通し家に帰って夕食後...



きます。お年寄りも若い人も...

読みやすく 分りやすく

阿知須町農協担当者一同

「農協だより」担当者として...

私たちの農協だよりには比べ...

つ録も出来るかもしれません...

最近、新聞やテレビでは、...

阿知須商工会勤務

保存者には記念品

三百号以降・四月二十日までに

町広報の四百号を記念して...

「広報紙の保存コンクール」...

また、第一号から四百号まで...

新年度の区長さん

Table with columns: 地区名, 区長名, 世帯数, 岩西, 岩前, 岩中, 岩南, 岩北, 岩東, 岩西, 岩南, 岩中, 岩北, 岩東. Lists names and household counts for various districts.

# 機構改正と人事異動

## 四月一日付け 八課一室十九係に

町役場の機構の一部改正と人事異動が四月一日付け(退職については三月三十一日付け)で行われました。

機構の主な改正点は次のとおりです。

●産業課に農村総合整備モデル事業や圃場整備事業などの事務を担当する土地改良係を新設。

●施設課を「建設課」施設係を「土木係」とし、新たに都市水道課の都市計画係を編入。

●保健衛生課に国民健康保険

や老人医療などを担当する国民健康保険係と清掃センターが完成することに備えて環境整備係を新設。

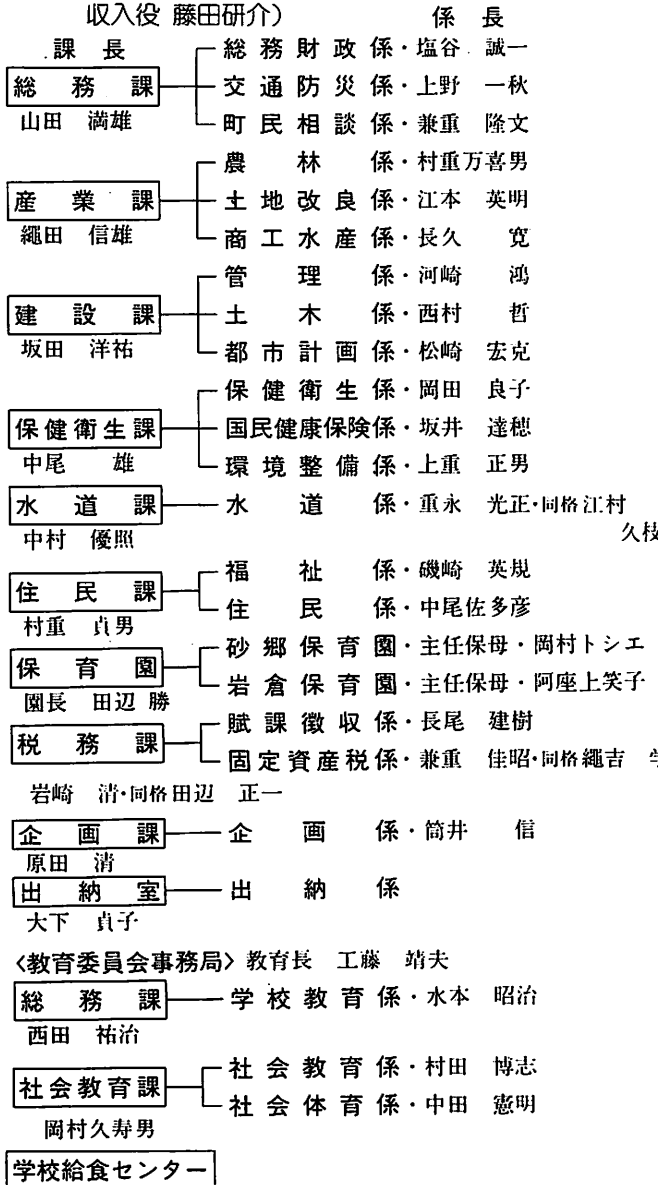
●都市水道課を「水道課」企画室を「企画課」に改める。

この機構改正により、町長部局は七課二室十七係から八課一室十九係(保育園を除く)になりました。

人事異動については次のとおり。( )内は旧。

▼課長級 建設課長 坂田洋

### 阿知須町機構図(町長 三好正之、助役 蔵富士和男)



〈教育委員会事務局〉教育長 工藤 靖夫

総務課 学校教育係 水本 昭治

社会教育課 社会教育係 村田 博志

社会体育係 中田 憲明

学校給食センター

所長 伊藤 信正

〈議会事務局〉

町議会 議会事務局

局長 水本 孝士

27日 井関小学校

24日 PTA総会

22日 振替休日(五年)

19日 宿泊訓練(五年生)

22日 少年自然の家

26日 参観日、PTA総会

25日 育友会総会、貯金・保険

26日 生徒総会

祐(施設課長) 水道課長 中村優照(都市水道課長) 住民課長 村重貞男(出納室長) 企画課長 原田清(企画室長) 出納室長 大下貞子(総務財政係長) ▼係長級 総務課長 務財政係長兼議事事務局書記 塩谷誠一(総務課町民相談係長兼総務財政係兼議事事務局書記) 総務課町民相談係長兼総務財政係 兼重隆文(企画室企画係) 産業課農林係長 村重万喜男(産業課農林係長) 同格) 産業課土地改良係長 江本英明(施設課耕地係長) 建設課管理係長 河崎鴻(施設課管理係長) 建設課土木係長 西村哲(施設課施設係長) 建設課都市計画係長 松崎宏

克(都市水道課都市計画係長) 保健衛生課保健衛生係長 岡田良子(保健衛生課保健衛生係長同格) 保健衛生課国民健康保険係長 坂井達(税務課固定資産税係) 保健衛生課環境整備係長 上重正男(保健衛生課保健衛生係長) 水道課水道係長 重永光正(水道課水道係) 水道課水道係長同格 江村久枝(住民課住民係) 住民課福祉係長 磯崎英規(都市水道課水道係長) 住民課福祉係長 中尾佐多彦(住民課福祉係長) 企画課企画係長 筒井信(産業課農林係長) ▼係 産業課土地改良係 中野康世(税務課賦課徴収係) 産業課土地改良係 高

下幸男(施設課施設係) 建設課管理係 中嶋清(施設課管理係) 建設課土木係 西村敏之(施設課耕地係) 保健衛生課国民健康保険係 網田幸子(保健衛生課保健衛生係) 住民課福祉係 水本文子(阿知須小学校事務員) 税務課賦課徴収係 縄重由紀子(住民課福祉係) 企画課企画係 小川文男(企画室企画係) ▼新採 建設課都市計画係 吉山虎夫、税務課固定資産税係 橋本敦義

▼退職 青木潔(住民課長) 上村滋(総務課総務財政係) 岡村規矩司(産業課農林係兼施設課施設係) 上村規矩司(産業課農林係兼施設課施設係) 上村規矩司(産業課農林係兼施設課施設係) 上村規矩司(産業課農林係兼施設課施設係)

▼係級 総務課学校教育係 山田登美子(阿知須中学校事務員) 阿知須中学校事務員 山田重子(社会教育課社会教育係) 阿知須小学校事務員 村田道江(総務課学校教育係) ▼新採 社会教育課社会教育係 三好由美子、給食センター調理員 竹原貞子

▼退職 吉村キシエ(阿知須小学校用務員)

### 教職員の異動

( )内は旧

4月1日付

▼校長 山大附属中副校長 水上義昭(阿中校長) 阿中校長 瀬川直吉(県立育成中学校) ▼教頭 桂若小教頭 土井正弘(阿小教諭) ▼教諭 厚南小 中安光代(阿小) 沼城小 永富英雄(阿小) 阿小 西田稔(宇賀小) 同校 福井章夫(新採) 山大附属中 原田信夫(阿中) 小郡中 松崎

**わが町の学校**

阿知須小学校

19日 宿泊訓練(五年生)

22日 少年自然の家

24日 家庭訪問

27日 PTA総会

阿知須中学校

22日 振替休日(五年生)

23日 貯金日

26日 参観日、PTA総会

15日 育友会総会、貯金・保険

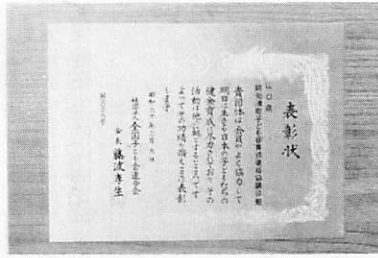
25日 納入日

26日 生徒総会

# 町子連が全国表彰に輝く

町子ども会育成連絡協議会（町子連）が全国子ども会連合会長表彰に輝きました。

これは子どもたちの健全育成をめざして町子連が結成されて以来、学校・関係団体との密接な連携のもとに地域の子ども会への指導・助言を積極的に行い、ジュニアリーダー



▲町子連に贈られた表彰楯

も養成。組織強化のために専門委員会を導入するなど常に新しい活動の方向をめざし努力している姿は、県内の他地区にも大きな影響を与えており、このことが高く評価されたものです。

なお、町内の各地区にある単位子ども会は昭和二十九年四月に発足、現在三十七の単位子ども会があります。

表彰に輝いた町子連の役員のみなさんは次のとおり。（敬称略）

▽会長 秋野憲章（引野）▽副会長 大沢義雄（築地）村長千恵子（仙在）▽専門委員 中原謙二（引野）浜崎敦二（砂三）伊藤孝（旦北）池田幸治（前山）磯部美佐子（浜野邦子（北祝）西村久美子

（砂三）  
まごころタクシー  
券を差し上げます

身体障害者手帳「一種」または療育手帳「A」をお持ちの人には「まごころタクシー券」を差し上げていますが、五十九年度分の券は四月から使えません。

六十年代分の券を差し上げますので、希望者は住民課へ申し出てください。手帳と印鑑が必要になります。

町営バスの回数券・定期券のお求めは町民相談室

町営バスの回数券・定期券は総務課町民相談係が次のとおり取り扱っています。購入を希望される人は、おいでください。

▽回数券 十枚分で十一枚つづり、二十枚分で二十三枚つづりの二種類あります。

▽定期券 一般は一月三割引き、三か月が一月定期の二・八五倍相当額。通学用は一月四割引き。十二歳未満の人や身体障害者福祉手帳、戦傷病者援護手帳の所持者は半額。ただし、十円未満の端数が出る時は切り上げて計算。



善意はここに

△町社会福祉協議会  
◇香典返し▽藤永隆さん（浜）は伯母ナツコさんの▽樽井幸人さん（寺河内）は父賢男さんの▽宮原トミ子さん（南祝）は夫長平さんの▽網田林さん（砂三）は母ユキノさんの  
◇篤志▽匿名(136)・137▽田中ハナコさん(石西)▽藤田良子さん(引野)▽磯中武子さん(砂二) (町へ)

◇広報送料▽三千元▽津秋富子さん(光市浅江五丁目五十九、飛石出身)



よからなしみ (届出順)

出生 (おすこやかに)

親の名 続柄子の名月日住所

濱野 泰宏長女由 香215砂二  
石丸 義人二女貴 恵219赤迫  
三嶋三天長女涼 子220浜  
小川 貴志長女 結 218 浜  
原田 正三長男直 弥224且東  
粟谷 強志長女優 子222岩上  
品川 修長男輝 成226小南

## 短歌



渡辺 宮子

春雨にけふる佐世保の第五ドック人影見えず鋼板吊り上ぐ

藤重 アヤ子

朝霧は若屋岬に棚引きて雨雲あつく今日の一日は

平海 アサノ

魚市場今日の好き日に完正式ひしめき合ひて祝餅ひろふ

正司 ウメノ

有難ふございましたと手を合せ入日拝みし母を憶ほゆ

師井 恭枝

吾が制止きかずに店内さわわりゆく五歳となりし孫の久美子は

木原 百合雄

手がけ居る吾が温床けなげにもトマト胡瓜の育ちいるなり

砂村 ヤス子

いつも居る家鴨三羽は大潮の満ちくる中洲の葦に入りゆく

三隅 孝義長男大 輔33 前山  
福永 宏長男聖 典33 野口  
秋田 和俊二女沙 梨310 赤迫  
重村 秀三二女早百合 32 旦北

死亡 (ご冥福を祈ります)

氏名 死亡月日年齢 住所

藤永ナツコ 2・23 63 浜  
柏村 藤一 2・25 76 築地  
石川 一江 3・6 57 西条  
網田ユキノ 3・11 91 砂三  
潮中 ヒロ 3・17 80 砂三  
(三月二十五日受付分まで)

### 町の住民登録人口

(60年3月31日現在)	前月比
世帯 2,266世帯	± 0
人口 8,421人	-17
(男 3,924人 女 4,497人)	
(国勢調査 昭和55年10月1日)	
世帯 2,283世帯	
人口 8,327人	
(男3,887人 女4,440人)	

尋ね来て玄関に見る首相の書立ちとどまりてしほしみつめぬ 松尾 君代

雨後の藍色深き日の山を見つつ春待つ思ひしきりなり 藤重 幾代

糞を取るバケツを持ちて飼犬の運動させをり夕べの干拓 松代 二郎

雪とけて谷の水音たゆるなく聞ゆる音に春を待ちをり 村谷 キク

旅立に空をあほぎて天気予報氣づかいつつも心楽しく 田頭 フテ

小春日や日ごと咲き盛る山茶花の桃色の花散りしきてをり 古谷 ハナコ

中国の残留孤児の肉親と逢へる日待つ人ぞいとほし 三住 清子

日本中かけめぐりたる日々思ふ今は安けく足よわくなり 河合 ヨネ

飾られし子等の作品心地よく日々楽しむに見て歩く我 村田 ウメノ